

喫煙禁止区域内の喫煙所の在り方について

1、アンケート結果について

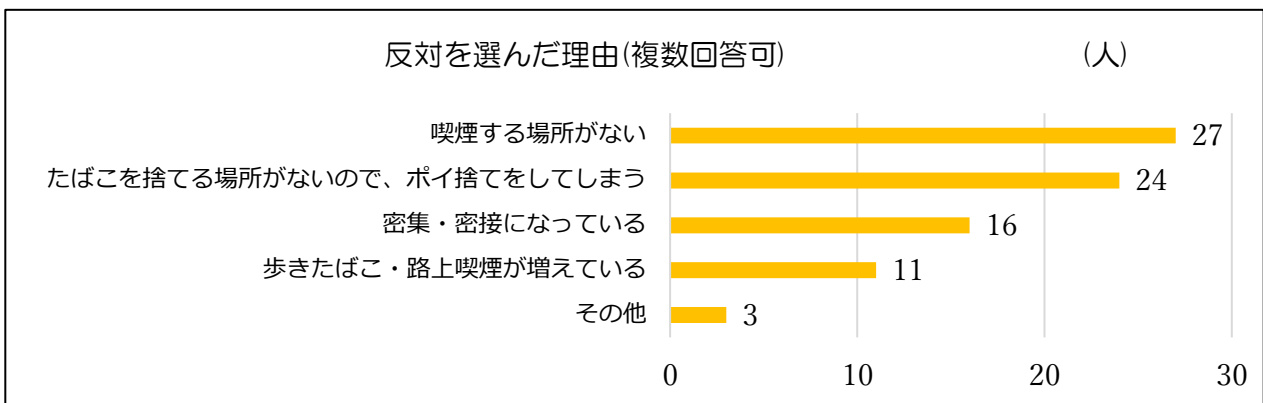
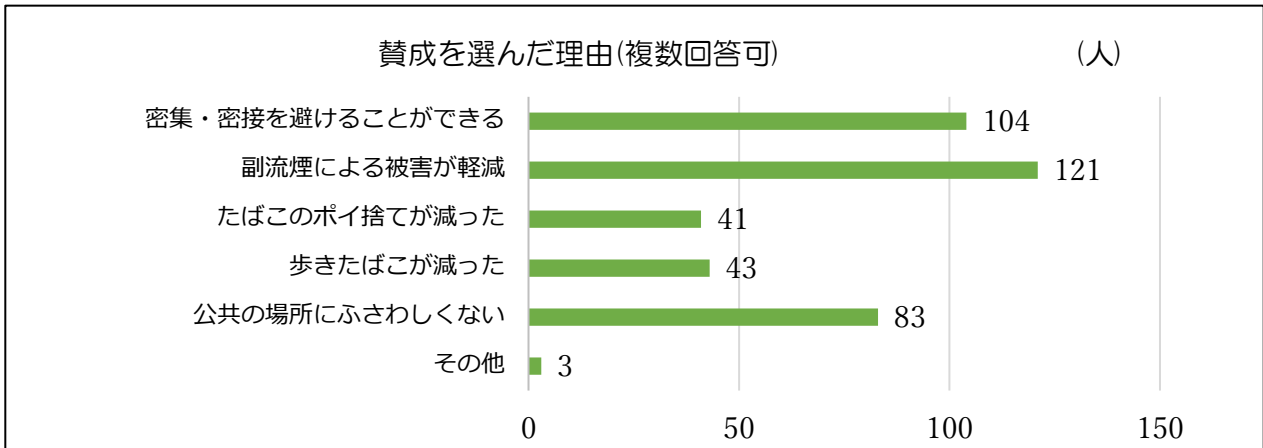
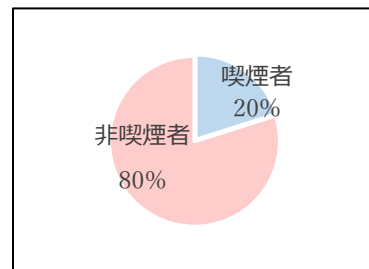
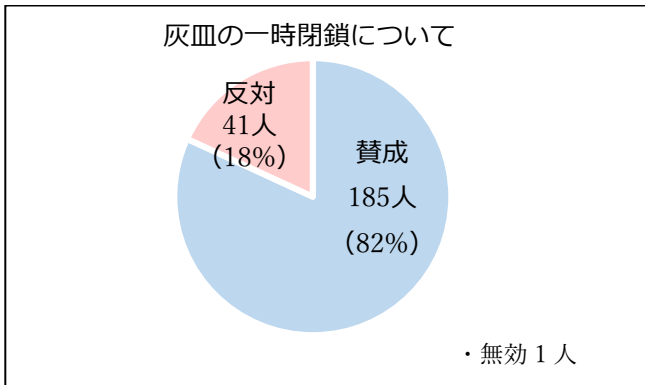
7月1日・2日、高松市役所1階ロビー及び中央通り周辺（中央公園～中央通り～高松駅前）でアンケート調査を実施した。また、市の関係機関（環境美化都市推進会議・環境審議会）の委員からも回答を頂いた。

○回答者数；一般市民194人、関係委員33人 計227人

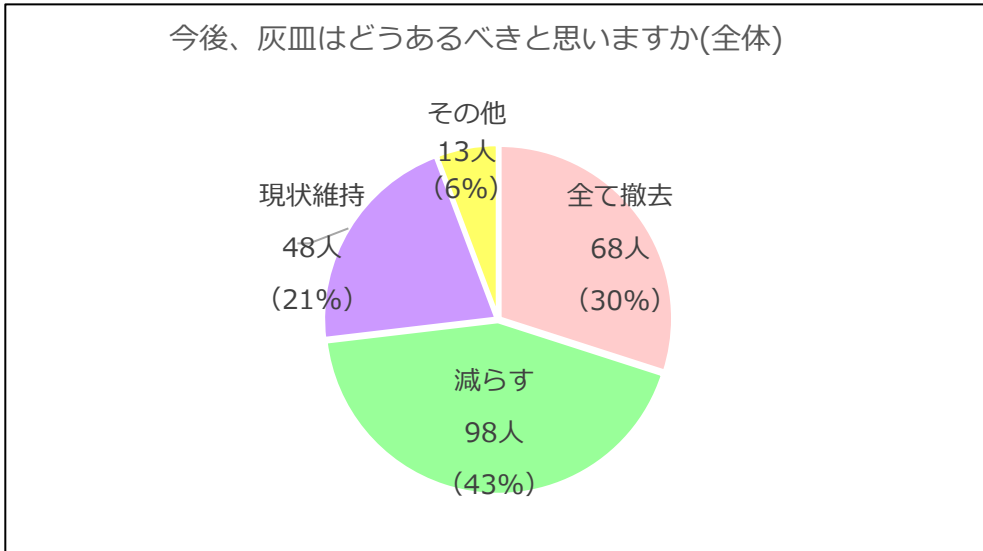
○一般市民回答者の喫煙率 喫煙者20%、非喫煙者80%

（結果概要）

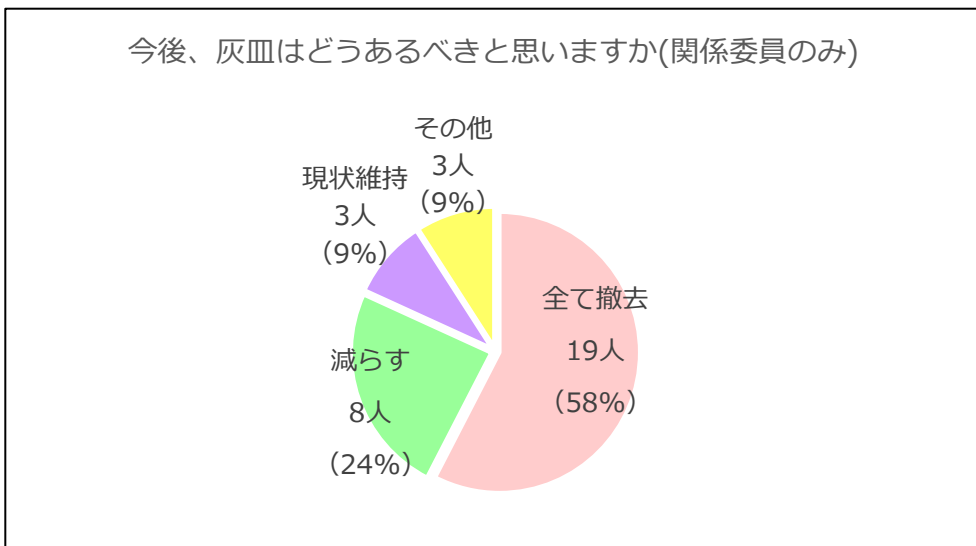
今回の一時閉鎖について**賛成が185人（82%）**と高く、その理由として一番多かったのが「副流煙による被害が軽減された」121人（53%）であった。また、「密集・密接を避けることができる」104人（46%）、「公共の場にふさわしくない」83人（37%）の回答があった。



今後灰皿はどうあるべきかについては、「全て撤去」及び「減らすべき」と回答したのは166人(73%)であった。また、「現状維持」と回答したのは48人(21%)であった。



また、関係機関の委員をみると、「全て撤去」及び「減らすべき」と回答したのは、27人(82%)であったが、そのうち「全て撤去」と回答したのは19人(58%)であった。また、「現状維持」と回答したのは3人(9%)であった。



その他の主な意見

- 副流煙が流れてくるので、閉まった空間にしてほしい
- 場所を見直して
- 段階的に減らしていくべき 等